

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	村民総参加 みんなで応援 子育てのむら事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 子育て支援センター 0263-67-1020 東筑摩郡筑北村坂井5687-2
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	教育、文化の振興
総事業費	586,259円 (うち支援金: 468,000円)

#### 事業内容

「ニコニコ子育て」ステーション事業

##### ○親子ふれあい講座

・子育て中の保護者等を対象に「イク★ナビ」として、しつけ講座・ほめ方講座・手遊び講座・言葉の発達講座・体の発達講座を実施。

##### ○ペアレント・トレーニング

保育園・小学生・特別支援在籍のお子さんの保護者等を対象に、1コース8回で実施。土日実践版講座、修了者のためのフォローアップも実施。

##### ○発達障害を理解する講座を3回実施。

##### ○村民の集い：講演会と「筑北村での支援の状況について」村4関係者からの実践報告を実施。



【村民の集い】

“つなぐ・広める”途切れのない発達障害支援  
～地域の特色を活かした仕組みづくり～

#### 【目標・ねらい】

- ①正しい発達障害の理解を広げる
- ②保護者の子育て意識の向上

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①発達障害を理解する講座の受講者数が130名に達した。村民の集いには78名の参加者があり、発達障害の理解が深まった、各年齢での村の取り組み内容が分かったと感想があった。「障害の基礎知識を学び理解し、子育てをお互いに支え支えられる者」が着実に増加してきている。

②親子ふれあい講座参加で、受講後に子どもと向き合う楽しさを感じる母が70%以上。ペアレント・トレーニング修了者は、受講前より「子育てに対する自信度がアップした」91.5%、「子どもの気になる行動が改善した」73.9%の効果があった。前向きに子育てができる一助となっている。

#### ※自己評価【 A 】

##### 【理由】

- ・昨年から引き続き、計画的に事業を実施できた。
- ・H30年度に子育て世代包括支援センター立ち上げの方向付けができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①継続実施し、発達障害への理解の輪を広げ、お互いに支え支えられる村づくりをめざす。
- ②継続実施し、子育てに不安や困難さを抱えている保護者に、自信を持って子育てができるよう支援を行い、さらに保護者同士や地域の皆(村民全体)で子育て支援をしあえるような、子育て支援ネットワークづくりをすすめる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある